

授業科目名・形態	福祉経営論	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	石岡和志	高木さひろ	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

福祉サービスの分野において「経営」の視点で組織、法人、マネジメントを学ぶ意義は何か。これが本講義を貫く主題となる。その理解の前提として社会福祉基礎構造改革が唱えられた時代背景や、ベースとなる「基本的人権の尊重」につき考えることが重要。同時に、民法における「意思能力」、「権利能力」、「契約」の概念を理解することで、「福祉経営」としての学習が効果的なものとなる。

各論としては、法人の種類など福祉サービスの組織の種類と特徴の理解、経営に関する基礎理論、人事・労務等の管理マネジメント理論を学び福祉サービスの提供者として知識の習得をはかり実践力を高めることを目指す。

【到達目標】

- 1) 福祉サービスにかかわる組織、特に法人の種類と特徴について理解すること。
- 2) 集団力学、リーダーシップに関する基礎理論を学び、理解すること。
- 3) 福祉サービスの組織のマネジメント、管理運営の基礎理論と実際について学び、理解すること。

【授業計画・内容】

- 第1回 福祉サービスの組織と経営とは
- 第2回 福祉サービスにおける組織と経営 (1)
- 第3回 福祉サービスにおける組織と経営 (2)
- 第4回 福祉サービスにかかわる組織や団体 (1)
- 第5回 福祉サービスにかかわる組織や団体 (2)
- 第6回 福祉サービスの組織と経営の基礎理論
- 第7回 集団の力学／リーダーシップに関する基礎理論
- 第8回 福祉サービスの管理運営の方法 (1) サービス管理①
- 第9回 福祉サービスの管理運営の方法 (2) サービス管理②
- 第10回 福祉サービスの管理運営の方法 (3) 人事管理と労務管理①
- 第11回 福祉サービスの管理運営の方法 (4) 人事管理と労務管理②
- 第12回 福祉サービスの管理運営の方法 (5) 会計管理と財務管理①
- 第13回 福祉サービスの管理運営の方法 (6) 会計管理と財務管理②
- 第14回 福祉サービスの管理運営の方法 (7) 会計管理と財務管理③
- 第15回 福祉サービスの管理運営の方法 (8) 情報管理と戦略的広報

【授業実施方法】 基本的には講義形式で行う。

【授業準備】 講義内容を踏まえた復習を行い、習得しておくこと。

【主な関連する科目】 社会福祉概論Ⅰ、福祉行財政と福祉計画、他

【教科書等】 新・社会福祉士養成講座 (11巻) 『福祉サービスの組織と経営 第5版』 中央法規出版

【参考文献】 必要に応じ提示する。

【成績評価方法】

授業態度等 10%、課題レポート 20%、筆記試験 70%により総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

社会福祉施設の管理職として10年の実績がある。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

福祉サービスを実際に提供する自身の姿をイメージしながら、主体的・積極的に授業に参加するよう望む。講義がメインとなるが、内容に応じグループワークやロールプレイ等も活用し、学生による発表の機会も設けたい。